

はじめに 愛知県新城保健所 所長 若杉英志



現在2回目の新城保健所長として勤務しております。以前の設楽保健所長時代も加えると、北設には3回目ということになります。

保健所の仕事も時代とともに変化してきており、特に平成9年の地域保健法で大きく変わってきました。初めて保健所長として着任した設楽保健所では、老人保健法ができたばかりの頃であり、レントゲン車に乗り北設の各地域を回って町村の住民健診を手伝っていました。しかし先ほどの地域保健法により、身近な住民サービスは市町村の役割ということになり、町村も保健サービスの実力を付け、健診を始め直接的な住民サービスの多くは市町村の保健部門が担っています。保健所は広域的・専門的保健サービスへとシフトしてきています。

近年は健康危機管理対策ということで、広域的な健康被害の予防体制を進めていますが、今年は新型インフルエンザが発生し、その対応に追われました。幸いにも管内での発生当初の感染はなく、8月に入り2件の集団感染がありました。9月の新学期が始まり、例年の集団かせの把握体制に準じた体制へと変わり、管内でも学級閉鎖が発生しています。感染把握体制が変化しても、患者さんを診察していただくのは、第一線の臨床の先生方です。この秋冬のシーズン前に、すでに流行が始まっています。このまま変異はなくても、多くの方が感染することが予想され、ハイリスクの患者さんへは早めの治療が必要となります。地域の先生方と十分な連携を取り対応していきたいと思っておりますので、院内感染対策を今一度ご確認いただきまして、新型インフルエンザ対策へのご協力をお願いしたいと思います。

開業医訪問

ながしのクリニック

院長 村松 弥



平成13年1月、新城市(当時は鳳来町)長篠に開業して早8年が過ぎました。ついこの間のことのように思いますが、当時まだ小学生だった患者さんが先日生まれたての

赤ちゃんを抱いて来られ、改めて時の経つのは早いものだ実感しています。本来自分の専門は内科特に消化器内科で、勤務医の頃は明けても暮れても内視鏡ばかり覗いていました。ところが自分がもともと子供好きなので、開業時より小児の患者さんも多く来院され、いつの間にか新生児の赤ちゃんから高齢の大人の方までと守備範囲も広がりました。いわゆる総合医・家庭医として今日まで充実した日々を過ごさせていただいています。大変ありがたいことと感謝しています。

「わかりやすい医療」をモットーにこれからも今まで以上に微力を尽くし、少しでも地元のお役に立てるよう努力していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

住所 新城市長篠字権現堂 8-5

電話 0536-32-3223

勤務医訪問

歯科口腔外科

部長医師 堀内隆作



平成11年1月に赴任して、はや10年が経過いたしました。口腔外科という医学と歯学、医師と歯科医師の架け橋となり、この領域で悩む患者様をお助けすることを、

自らの使命と心え、これまで診療に携わって参りました。診療体制は、専門である口腔腫瘍、顔面外傷、歯源性疾患を主体とし、さらに自分が評議員を務める日本口腔ケア学会の学識を生かして、寝たきり者の口腔ケア、有病者歯科を行っています。昨今、誤嚥性肺炎だけでなく、動脈硬化の原因にも歯周病菌が深く関与することがわかり、また咀嚼・摂食嚥下には、咬合位の回復が特に大切とされています。近々、インプラント治療を開始し、また来年6月には、大会長として第32回日本歯科麻酔学会中部地方会を当院で開催する予定でございます。ペインコントロール、周術期管理の演題もあり、ご興味のある先生はぜひ、ご参集下さい。これからも新城医師会・歯科医師会、北設医療圏の諸先生方と緊密に連携を取りながら地域医療に根ざした、患者様主体の医療を提供して参る所存であります。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

ながしのクリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土
(午前) 8:30~12:00	○	○	○	○	○	◎
(午後) 3:00~6:30	○	△	○	△	○	△

休診日：日曜日・祝祭日、土曜日は午前8:30~午後1:00



↑ながしのクリニック全景

歯科口腔外科



↑入院手術・院内廻診もっております



↑スタッフ一同でお待ち申し上げます

みんなの広場

新城まちづくりネット



当会は、3市町村合併前から各種団体との協議が行われ、平成18年6月に発足しました。現在の加盟団体（しんしろはつつネットワーク・新城更生保護女性会・たんぼぼ読書会・新城商工会女性部・福祉を学ぶ会・節句ひなサロン・きらめきネット鳳来・さわやかネットつくで）は、自主活動をしながら男女共同参画のまちづくりを推進しています。会の主な事業は、防災キャンペーン「マイタオル・歯ブラシ53,000作戦」「男女共同参画フォーラム」「市長懇談会」「まちづくり学習会」等です。

★ 21年度フォーラム、12月5日（土）13時30分~15時30分、文化会館にて、「TVでおなじみの、料理のツマモノ出荷額で日本一、徳島県上勝町の横石知二氏」をお迎えして、地域を活かし住民を輝かせた講演会を開催します。どなたでもご参加ください。（チケット取り扱いは、11月1日から新城文化会館・鳳来総合支所・作手総合支所で、入場料600円）

★ 防災キャンペーン「マイタオル・歯ブラシ53,000作戦」は、常に防災意識を持つために年間を通じて集めています。災害時に保健衛生のタオルが、夏は日よけに、冬は首に、寝る時は枕にもなります。タオルも歯ブラシも家族といえども共有するものではありません。いざ！と言う時、全市民に配布できるよう、多くの皆様をお願いしています。市役所ロビー・鳳来総合支所・作手総合支所にプラスチックケースが設置してあります。

★ 21年度フォーラム、12月5日（土）13時30分~15時30分、文化会館にて、「TVでおなじみの、料理のツマモノ出荷額で日本一、徳島県上勝町の横石知二氏」をお迎えして、地域を活かし住民を輝かせた講演会を開催します。どなたでもご参加ください。（チケット取り扱いは、11月1日から新城文化会館・鳳来総合支所・作手総合支所で、入場料600円）

新城まちづくりネット防災キャンペーン

誰でもできるボランティア

マイタオル53,000作戦

災害時に必要な
タオルと**歯ブラシ**
を、みなさんで集めましょう

多くの自治会や町会に配布した際、迅速な配布・回収が完了し、そして新居町中継局では、避難所を確保するために配布されたタオルが足りなくなりました。自治体の多くは臨時・決断人員の削減から、近隣の材料と高額の補充と困難を感ずっています。私達も何か支援ができないかと考えました。一人では足りないので、ボランティアで募集するのです。新居町中継局の備品では、交換するまでの一助としてこれらを持っていただくのは、1タオル、2歯ブラシ、3キャンペーンです。そこで、避難所を大きくサポートする「マイタオル53,000作戦」とは、誰でも参加できるタオルと歯ブラシを53,000セット集めよう！という呼びかけです。「タオル」は毎年1000個以上も必要ですが、歯・歯ブラシは壊れやすい、夏は日よけにもなります。「歯ブラシ」は災害時にいざとならば活用するのはもちろん、です。

Q 誰でも出来るの？

A 誰でも出来ます。お持ちしているタオルや歯ブラシをお預りください。

Q 「マイタオル53,000作戦」の参加費はあるの？

A 参加費は無いので、マイタオルがまだ足りない方のコミュニケーションが広がります。下記団体の会費にお預り下さい。

Q タオル53,000本の達成は今年中か？

A 例えは1年間で5,300人分としても10年程を要します。

Q なぜ、53,000本のですか？

A 被災避難者の人口は約53,000人です。被災者にも配布する必要があります。

※ 市役所・鳳来総合支所・作手総合支所にて、10000個の備品が用意されています。備品のボランティアで「マイタオル53,000作戦」が達成されると10000個の備品がなくなります。一人ひとりが出発する準備をお願いします。 ※ このキャンペーン中に多大の災害が起きた際は、支援品として発送する事として下さい。

■ 参加品：タオル・歯ブラシ
■ 募集：市役所・鳳来総合支所・作手総合支所
■ 問い合わせ先：TEL 0536-22-1533
■ 主催：新城町

▼ 下記団体に受け付けています。 個人・法人・団体問わず。 寄付の受付はネット募集 ※ 市役所・鳳来総合支所・作手総合支所にて。 ※ 新居町中継局 ① 新居町中継局 ② 新居町中継局 ③ 新居町中継局 ④ 新居町中継局 ⑤ 新居町中継局 ⑥ 新居町中継局 ⑦ 新居町中継局 ⑧ 新居町中継局 ⑨ 新居町中継局 ⑩ 新居町中継局